

五泉進路だより 虹の架け橋



進路だより 第10号
平成29年3月24日発行
県立五泉特別支援学校
進路指導部

高等部3年生の進路について

高等部3年生の進路先が決まりましたので、お知らせいたします。

企業就労

～3名～

福祉的就労

～5名～



**進路先事業所につきましては、
保護者の皆様にお知らせいたしました。**



高等部3年生は、自分のやりたいことや適性を確認しながら、たくさんの実習を重ねてきました。作業だけでなく、実習先への通勤や、職場の人とのコミュニケーションにも力を入れて練習してきました。進路先はそれぞれ異なりますが、自分の選んだ道で活躍を願っています。

保護者の皆様におかれましては、進路選択・決定にあたりたくさんのご協力をいただき、大変ありがとうございました。

卒業後の「就労」と「生活」について

卒業後の生活は、学校での生活に比べて大きく変わります。生活習慣の乱れや、悩み事・心配事、ストレスなどから、体調を崩し、就労を続けることが難しくなることもあります。仕事だけでなく、「生活」についても、ともに考えていきましょう。

生活上の課題は、健康、家庭、お金、余暇、交友関係など人によって様々です。自分自身の生活について、心配なことや解決すべきことを確認し、卒業後に安心して生活できるようにしていきましょう。

もし、「就労」や「生活」において困ったことがありましたら、「相談支援事業所」の担当相談員さん、「障がい者就業・生活支援センターらいふあっぷ」の支援ワーカーさんに相談するのもよいと思います。学校も、卒業後のアフターケアとして、定期的に進路先を訪問し、様子を確認させていただきます。学校も、卒業後の相談窓口としてご活用ください。



次年度の職場実習に向けて

○日々、意識する

高等部1、2年生は、次年度の職場実習について、個人懇談等ですでに話を聞いたり、希望を確認させていただいたりしています。職場実習は、ただの「働く体験」ではなく、卒業後の生活を想定して、通勤や実習先での過ごし方、人との関わり方なども総合的にチェックします。これらのことは、普段の学校や家庭での生活習慣が大きく関わっており、実習でもその姿が表れます。「実習になったら頑張ります」「実習先ではしっかり取り組みます」ではなく、日頃から規則正しく生活することを意識し、挨拶や身だしなみ、決まりを守ることはもちろん、高等部卒業後の「社会人」としての生活に向けて、積極的に取り組んでいってほしいと思います。

○ご家庭で

保護者の皆様におかれましても、ご家庭で普段からお子様にごこのような話をさせていただき、お子様の「自立」に向けた支援をお願いいたします。お子様が具体的に進路について意識できるようになってきましたら、「働くこと」の良さ、厳しさ、大切さなどについても触れ、どのような仕事をしたいか、そのためにこれから身に付ける力は何かなどを、お子様と一緒に考えていってください。

○自己選択・自己決定

卒業後の進路は、授業や職場実習で学んだこと、経験したことなどをもとに、お子様ご自身が決定するものです。お子様が適切な進路選択・決定ができるよう、在学中にたくさんのご経験したり、自分自身について振り返る機会を設けたりして、適正や希望を確認していってほしいと思います。

○小学部・中学部でも

進路についての情報は、早く知っておいて損はありません。小、中学部の保護者の皆様におかれましても、お子様の将来の生活について必要な情報を収集させていただき、お子様の「自立」と「社会参加」に向けて、ご家庭でもできるところから少しずつ取り組んでいただきたいと思います。

進路や職場実習につきまして、ご不明な点は、学級担任へお問い合わせください。



平成28年度
職場実習の
様子



一年間、ありがとうございました。



県立五泉特別支援学校
TEL 0250-43-4370
FAX 0250-43-1980
担当 進路指導部 神田 雄作

